

全7回の講座で
学び合います

知的・発達障がいのある子どもへの

性暴力防止

支援者としての
コミュニケーション

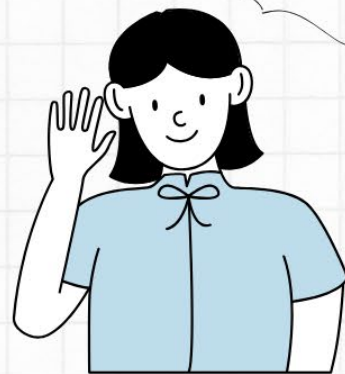


オンライン

連続セミナー

8月4日(日)開始

全7回 10:00~12:30



CAPセンター・JAPANでは、知的・発達障がいのある子どもたちが豊かに人と関わるための予防教育—子どもへの暴力防止/CAPプログラム、人との交流安全/サークルズプログラムを提供しています。

これらをベースに、子どもへの性暴力に関する絡まった問題を解きほぐし、子どもへの性暴力防止のファーストステップに立つ人が力を発揮していくための土台となるセミナーを2021年から開催してきました。4年めとなる今年度は、時間を30分延長し、後半約20分にコミュニケーション支援コーナーを設け、グループセッションを含むセミナーでゆっくりと学び合いを進めていきます。コミュニケーション支援コーナーでは、知的・発達障がいのある子どものセルフアドボカシーをめざすことを考えます。

本セミナーはすべてオンライン講座です(ZOOMを使用)

※なお、本連続セミナーについては、当日参加できなかった場合にオンデマンド配信の視聴があります。ただし、すべてオンデマンド配信のみでの参加はできません。

※資料は事前にURLをお知らせし、ダウンロードしてご準備いただくことになります。

お申込み

以下のGoogleフォームからお申し込みください。申込み確定後、ご登録のメールアドレス宛に振込口座等をご案内いたします。

申込締め切りは7月19日(金)16:30までです。

参加できない場合は必ず事前にキャンセルをお願いいたします。

<https://forms.gle/LZeAHq3R3ZZu588m7>



参加費

- ◆全回参加 20,000円 定員:20人
- ◆単回参加 5,000円 定員:各回10人
(複数回のお申込み可)

対象

知的・発達障がいのある子どもと日常的に関わる支援者
(教職員・学童保育・放課後等デイサービススタッフなど)

講師チーム

CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト
障がいのある子どもへの暴力防止に取り組んできた
CAPスペシャリスト。「知的・発達障がいのある子どもへの
性暴力防止事業」プロジェクト2024メンバー。

主催

認定NPO法人CAPセンター・JAPAN

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町 2-1-1-104

TEL: (06)6648-1120 FAX: (06)6648-1121

<https://cap-j.net/>



講座概要 時間はすべて 10:00~12:30

ゼロベースⅠ
8月4日(日)

知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止を考える

知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止に取り組むにあたり、障がいがあるということ、暴力・性暴力とは何かなど、すべての子どもの安全基地になるためのベースを共有します。また、性暴力防止においてめざすゴール(子どものウエルビーイングと権利の実現、セルフアドボカシー)を確認します。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援のフレームを共有する
知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止において、コミュニケーション支援の必要性とセルフ・アドボカシーにむけての考え方のフレームを共有します。

ゼロベースⅡ
9月8日(日)

子どもの人権をベースにした性暴力防止のフレームを共有する

すべての子どもの安全基地になるために、子どものけんり(基本的人権)、バウンダリー、トラウマインフォームドケアについてフレームを押え、支援者としての立ち位置を確認します。

コミュニケーション支援コーナー 日常におけるコミュニケーション支援の有効性を共有する
“事例を通して考えるコミュニケーション支援—セルフアドボカシーは一日にして成らず”

第1回
10月13日(日)

当事者をつながる(1)—性暴力被害を受けた子ども

性暴力被害を受けた(疑いのある)障がいのある子どもの支援について、その実態、性的虐待順応症候群、性暴力被害に気づく手がかり(子どものサインや疑いをもったときのアプローチ・子どもの話の聴き方など)を確認し、日常生活における性暴力被害の悪化防止・再発防止の取り組みのアイデアを広げます。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(1)
子どもが自分の〇をふやす工夫について—おとなのためのレッスン帳 ○×メモ どうしてメモ“

第2回
11月17日(日)

当事者をつながる(2)—性加害行動をする子ども

性加害行動をした(可能性のある)障がいのある子どもの支援について、ファーストステップに立つ私たちが持っておきたい知識・スキル・情報(子どものサインや疑いを持ったときのアプローチ・子どもへの声かけなど)を確認し、日常生活において性加害行動を繰り返さないですむための悪化防止・再発防止の取り組みのアイデアを広げます。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(2)
“時間軸を持つ”ことについて—「今」っていつ?この次はどうなるの? 巻物カレンダー・見とおしメモ

第3回
12月8日(日)

子どもの身近なおとなをつながる(1)—家族

子どもの性暴力被害・性加害行動をきっかけに、それぞれの家族とつながるために必要な知識・スキル・情報を確認し、家族と協働して子どもを支援するアイデアを広げます。障がいのある子どもの家族が社会構造のなかで置かれている状況についても考え、そこを踏まえたアプローチを考えます。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(3)
選択活動について—本当に選んでる?自己選択・自己決定のプロセス えらぶメモ

第4回
2025年1月12日(日)

子どもの身近なおとなをつながる(2)—社会資源・仲間・自分とつながる

性暴力防止に関する制度や法律について確認し、根拠(法律や制度)と予防的観点(未然防止・発生防止・悪化防止・再発防止)を持ち、活用・協働できる社会資源を確認します。当事者・家族・支援者が孤立せず、ネットワークで希望を持ちながら、具体的に、継続性、一貫性のある取り組みをすること、伴走者としてできることを考えます。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(4)
会話をみえる形にする工夫について—会話が見える? おはなしメモ・おはなしツイン・吹き出しメモ・4コマメモ

第5回
2025年2月9日(日)

予防的観点でできること—4つのCの具体的取り組みを知る

日常でできる知的・発達障がいのある子どもへの性暴力の未然防止・発生防止のための予防的観点での取り組み(子どもへの暴力防止/CAPプログラム、人との交流安全/サークルズプログラム)など、個人で、集団で、家族で、職場で取り組めるアイデアを広げます。

コミュニケーション支援コーナー セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(5)
“予算軸を持つ”ことについて—障がいがあるとお金は難しいんじゃないの?予算軸を持ちお金と暮らしを考える力を育む